

平成 27 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	プロジェクトマネジメント	担当教員	桜井 邦彦 (非常勤)		
学年学科	2 学次 全専攻	後期	選択	2 単位	
学習・教育目標	(B-1) 50%、(D-5) 50%		JABEE 基準 1 (1): (e) (50%) (h) (50%)		
授業の目標と期待される効果： 企業での業務は、やり方の決まった定型業務だけではなく、日常業務の中から異常を発見し解決する非定型業務（以下、プロジェクトという）が多い。 プロジェクトマネジメントの基本的考え方を理解した上で、企業での実践的な仕事の進め方を身につけ、以下の能力を持った人材の育成を目標とする。 ① 期限を決められたプロジェクトの計画を立案し、複数のプロジェクトメンバーをとりまとめて推進できる。 ② プロジェクトを実行する上で起きるリスクを予測し、対策を立案し、最短の期間で仕事を完了できる。 ③ プロジェクト遂行上の報告、提案、メンバー間対話を的確にできる。		成績評価の方法： 中間試験 50 点＋期末試験 100 点＋課題レポート評価 150 点による総得点率 (%) によって成績評価を行う。 達成度評価の基準： 各回に教室外学習として与えた課題について、課題レポートとして提出する。また、中間試験と期末試験について、授業内容の掌握状況を確認する。これらにより、その 6 割以上を正答のレベル、または、課題レポート完成のレベルに達していること。成績評価への重みづけは均等である。 ① プロジェクトマネジメントでよく使用される用語・キーワードの意味を理解している ② プロジェクトを計画、立案、日程管理、推進し、完了できる ③ プロジェクト遂行上のリスクを予測し、対策を立案できる ④ プロジェクトを最短期間で完了するための適正な仕事の手順を計画し、実行できる ⑤ プロジェクトの推進メンバーをまとめて推進会議を主催できる ⑥ 自分の意志を的確に書面で報告することができ、多人数の前で発表できる			
授業の進め方とアドバイス： 学生の能力を向上させるために、知識だけではなく課題を確実に実行することに重点をおく。実際に行われているプロジェクトの事例を分かり易く解説し、プロジェクトマネジメントを確実に実行できる実力をつける。 学生諸君自ら課題を実行することが大切で、将来にわたって役に立ち、企業で優位に立って仕事を進められると確信する。					
教科書および参考書： 講師の作成した「プリント」を使用する。					
授業の概要と予定：後期		教室外学習（一部教室内での演習を含む）		A L のレベル	
第 1 回：企業での業務推進、プロジェクトと何か		企業での業務推進に関する課題レポートの作成			
第 2 回：ビジョン策定、問題抽出、目標設定		ビジョン策定、問題抽出、目標設定に関する課題レポートの作成			
第 3 回：W. B. S. (Work Break Structure)、KJ 法		W. B. S. に関する課題レポート (W. B. S.) の作成			B
第 4 回：スケジュール作成、PERT 図		スケジュール作成に関する課題レポート (ガントチャート) の作成			
第 5 回：意志決定、リスク予測、クリチカルパス		意志決定、リスク予測に関する課題レポートの作成			
第 6 回：スケジュール管理、経営資源		スケジュール管理に関する課題レポートの作成			
第 7 回：コミュニケーションマネジメント、5W1H		コミュニケーションマネジメント演習：一枚レポートの作成			
第 8 回：中間試験による理解度の確認		プロジェクトマネジメント演習 II に関する状況調査			
第 9 回：プロジェクトマネジメント演習 2 の企画立案		プロジェクトマネジメント演習 II に関する状況調査			
第 10 回：成功に導くための要件		演習 II に関する課題レポートの作成			
第 11 回：8 つのマネジメント項目		演習 II に関する課題レポートの完成			
第 12 回：課題レポートのプレゼンテーションと審議 1		演習 II に関する課題レポートの見直し改善 (プロジェクト目標について)			A
第 13 回：課題レポートのプレゼンテーションと審議 2		演習 II に関する課題レポートの見直し改善 (WBS について)			A
第 14 回：課題レポートのプレゼンテーションと審議 3		演習 II に関する課題レポートの見直し改善 (スケジュールについて)			A
第 15 回：課題レポートのプレゼンテーションと審議 4		演習 II に関する課題レポートの見直し改善 (8 つのマネジメント項目について)			A
期末試験					
第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説、社会人となる学生への期待)					

評価 (ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	プロジェクトマネジメント でよく使用される用語・キー ワードの意味をプロジェク トマネジメント知識体系 (注) に準じて理解している	プロジェクトマネジメント でよく使用される用語・キー ワードの意味を理解してい る	プロジェクトマネジメント でよく使用される用語・キー ワードの意味を理解してい ない
②	プロジェクトをプロジェク トマネジメント知識体系に 準じて計画、立案、日程管理、 推進し、完了できる	プロジェクトを計画、立案、 日程管理、推進し、完了でき る	プロジェクトを計画、立案、 日程管理、推進し、完了でき ない
③	プロジェクト遂行上のリス クを予測し、そのリスクを分 析・評価し、的確な対策を立 案できる	プロジェクト遂行上のリス クを予測し、対策を立案でき る	プロジェクト遂行上のリス クを予測できず、対策を立案 できない
④	プロジェクトを最短期間で 完了するために、プロジェク トの諸条件を的確に判断して、 仕事の手順を計画し、実行 できる	プロジェクトを最短期間で 完了するための適正な仕事 の手順を計画し、実行できる	プロジェクトを最短期間で 完了するための適正な仕事 の手順を計画できず、また実 行できない
⑤	プロジェクトリーダーとし て必要な資質を理解してい るとともに、プロジェクトの 推進メンバーをまとめて推 進会議を主催できる	プロジェクトの推進メンバ ーをまとめて推進会議を主 催できる	プロジェクトの推進メンバ ーをまとめて推進会議を主 催できない
⑥	プロジェクトや業務の報告 の形式や方法の基本を理解 しているとともに、自分の意 志を的確に書面で報告する ことができ、多人数の前で発 表できる	自分の意志を的確に書面で 報告することができ、多人数 の前で発表できる	自分の意志を的確に書面で 報告することができない。ま た多人数の前で発表できな い

(注) プロジェクトマネジメント知識体系・・・PMI (Project Management Institute) のPMBOK (Project Management Body Of Knowledge)や日本プロジェクトマネジメント協会のP2M (Project & Program Management for Enterprise Innovation) など